

普段から目の届く場所に備えておき、
家族で、地域で防災に活用しましょう。

いざという時の連絡先

事件・事故
110

消防・救急
119

海上の事故
118

慌てずに落ち着いて
状況を伝えましょう。

市外局番0979	
防災関連公共機関	吉富町役場 24-1122
	国土交通省山国川河川事務所 24-0571
	福岡県京築県土整備事務所 82-3350
	京築広域圏消防本部 82-0119
	豊前消防署東部分署 72-0119
	福岡県豊前警察署 82-0110
電 気	広津駐在所 23-0789
電 話	吉富駐在所 22-2049
水 道	九州電力(株)行橋営業所 0120-986-103
	故障の際は局番なしの113または0120-444-113
	吉富町役場上下水道課 24-4074

災害用伝言サービス

災害伝言ダイヤル
171

「171」をダイヤルし、ガイダンスにしたがって
伝言の録音・再生をしてください

伝言の録音方法

171をダイヤル

1を押す

ガイダンスが
流れます

伝言の再生方法

171をダイヤル

2を押す

被災地の方も、被災地以外の方も
被災地の方の電話番号を 市外局番 からダイヤル

録 音

再 生

災害用伝言板サービス

携帯電話を使って被災者は安否状況の伝言を登録し、
外部の人がその伝言を確認できます。携帯電話のトップメニューから「災害用伝言板」を開き、伝言の登録・
確認を行います。

災害用プロードバンド伝言板 (web171)

インターネットを利用して被災者の安否確認を行う伝
言板です。伝言情報(文字、音声、画像)の登録・閲
覧が可能です。

<https://www.web171.jp/>

上記へアクセスし、案内に従って操作してください

地震や洪水などの大災害発生時は、電話利用が爆発的に増加し、電話がつながりにくい状況が1日～数日間続くことがあります。このような場合は、「災害用伝言ダイヤル」・「災害用伝言板サービス」・「災害用プロードバンド伝言板 (web171)」が開設されます。

災害用伝言ダイヤル

忘れてイナイ (171) ? 災害伝言171
などと覚えてください

このサービスは、大規模な災害が発生した場合、「声の伝言板」(安否情報)の役割をする電話サービスです。被災地内とその他の地域の人々との間などで、伝言の登録・再生をすることができます。毎月1日・15日、正月三が日、および防災週間・防災とボランティア週間ににおいてお試し利用ができます。



吉富町 防災 パンフレット ハザードマップ付



氏名	電話(学校・勤務先)	住所
▶「家族で記入しましょう。」		
家族の連絡先		
わが家の避難先(親類宅・避難所など)		
家族がはなればなれになった時の集合場所		

目 次

- 地域防災力を高めよう 1
- 大雨・洪水・暴風 3
- 土砂災害 6
- 非常持ち出し品 7
- 特別警報 7
- 地震 8
- 津波 11
- 避難情報の種類とるべき行動 13
- ・ 吉富町の情報の伝達経路 14

巻末付録

吉富町 防災
ハザードマップ



吉富町の 地域防災力を高めよう

災害発生時には、吉富町や関係機関は全力をあげて対応にあたりますが、火災や道路の寸断・断水・停電など様々な被害が広い範囲で起きた場合は、対応が非常に困難な事態が予想されます。このような場合には、地域ぐるみで協力し合い、助け合うことが大切になります。日頃から自主防災組織を中心に、防災知識を身につけることや、いざというときの役割分担を決めるなどして、地域の防災力を高めましょう。

■自主防災組織の役目と活動

「自分たちの命、自分たちの地域は自分たちで守る！」

平常時

- 避難経路の確認
- 危険箇所の把握
- 避難目標の確認
- 協力体制の確認
- 地域の情報収集



災害時

- 情報収集・伝達の協力
- 避難行動要支援者への支援
- 避難時の助け合い
- 避難誘導
- 給食・給水活動への協力
- 環境や衛生の保持への協力



吉富町ではすべての自治会で 自主防災組織が結成されています。

各地域の実情に合わせて防災資機材の整備、避難行動要支援者支援体制の構築が進められており、それぞれの地域での活動が始まっています。平成25年度には吉富町と自主防災組織が連携し、町内全地区を対象とした初の防災避難訓練を実施しました。今後も災害への備えを進めていきます。



家族で！ 地域で！ 日ごろのコミュニケーションと備えが大切です。

■家族で確認しよう

このパンフレットや巻末ポケットに入っているハザードマップを活用して、家族で避難所や連絡方法、連絡先、家から避難所までの経路が安全に通行できるか確認しましょう。



■地域の防災活動

町内の防災訓練や自主防災組織に積極的に参加し、防災への意識を強く持つようにしましょう。隣近所の方とも避難場所や避難の仕方などについてよく話し合い、もし災害が発生しても、落着いて行動できるようにしましょう。

■自助・共助・公助という考え方

災害時には、自助・共助・公助が互いに連携することで、被害を最小限にできるとともに、早期の復旧・復興につながるものとなります。



自助

町民、家庭、企業が自らを災害から守る

公助

町や国、県、防災関係機関が町民などを援助する

共助

自主防災組織などの地域社会が協力して地域を災害から守る

吉富町では平成24年2月に災害時要援護者支援制度実施要綱を制定し、町としての取り組みを開始、登録に同意を得た要援護者の名簿を作成しました。

また、災害時要援護者支援研修会を実施、各地区自主防災組織により要援護者の個別支援計画の策定を進めています。



■避難行動要支援者を支援しましょう

避難行動要支援者とは、年齢や障がい、言葉の違いなど、災害発生時の対応に何らかのハンデを負っている人々のことです。地域で協力しあいながら、災害時の情報提供や安否確認、避難誘導など、必要に応じた支援をしましょう。



■高齢者・病人

- おぶって安全な場所まで避難する。
- リヤカーなどがあれば搬送に活用する。
- 複数の介助者で対応する。



■肢体の不自由な方（車椅子）

- 階段では2人以上が必要。上がりは前向き、下りは後ろ向きにして移動する。
- 介助者が1人の場合、ひもなどを用意し、おぶって避難する。



■目の不自由な方

- 声をかけ情報を伝える。
- 誘導する場合は、杖を持つ方の手には触れず、ひじのあたりを軽く持ってもらい、半歩前をゆっくり歩く。



■耳の不自由な方

- 話すときは、口をハッキリと開け、相手にわかりやすいようにする。
- 手話、筆談、身振りなどの方法で正確な情報を伝える。

防災メールまもるくん

下記アドレスに空メールを送信し、折り返し届いたメールに従って登録してください。

mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp

福岡県による防災情報などのメール配信システムです。
いざという時のため登録し、情報収集に役立ててください。
詳しくは福岡県総務部防災危機管理局のホームページをご覧ください。

QRコード読み取り機能付
携帯電話の場合はこちらから▶

お問い合わせ先…福岡県防災企画課 TEL:092-643-3114



大雨・洪水・暴風

吉富町では、過去に大雨によるはん濫で、浸水被害が発生したり、暴風により電柱が倒れたり、窓ガラスが破損するなどの被害が発生しています。台風の時期など大雨や暴風による災害が発生するかもしれません。大雨が降れば、佐井川など河川のはん濫や、町内の低い土地では水路からのはん濫が発生する可能性があります。いざというときに備え、巻末のポケットに入っている洪水ハザードマップで被害の範囲を確認しておきましょう。



雨の強さと降り方 (1時間雨量)

やや強い雨
1mm以上～
20mm未満
ザーザーと降る。

強い雨
20mm以上～
30mm未満
どしゃ降り。

強烈な雨
30mm以上～
50mm未満
バケツをひっくり返したように降る。

激しい強い雨
50mm以上～
80mm未満
滝のように降る。
(ゴーゴーと降り続く。)

非常に激しい
強い雨
80mm以上
息苦しくなるような
圧迫感がある。
恐怖を感じる。

警報と注意報 (大雨・洪水)

大雨注意報・洪水注意報

大雨・長雨などにより、
河川が増水し、災害(洪
水、土砂災害や低地の
浸水など)が発生する
おそれがあるとき。

大雨警報・洪水警報

それぞれ重大な災害が
発生するおそれがある
とき。

土砂災害警戒情報

大雨警報の発表中に、土
砂災害発生の危険度が
高まったとき、福岡県と福
岡管区気象台が共同で
作成・発表する情報です。

大雨特別警報

警報の発表基準をはる
かに超える災害が予想
され、危険性が著しく高
まっているとき。

吉富町での注意報、警報が発表される雨量の基準は以下のとおりです。

1時間
雨量
40ミリ以上
になると予想される場合

1時間
雨量
60ミリ以上
になると予想される場合



このほか、数年に一度の猛烈な雨が観測された場合には、気象台から、「記録的短時間大雨情報」が発表されます。この情報が発表された地域では、近くで災害の発生につながる事態が生じていることを意味しています。

大雨などのときには、テレビ、ラジオなどにより最新の注意報、警報の発表状況を確認するようにしましょう。テレビ・ラジオの他には、NTTテレホンサービス「177」や気象庁ホームページ (<http://www.jma.go.jp/>) でも確認できます。

大雨時は早めの避難

危険が迫る前に早めの避難が必要です。

指定避難所への移動（水平避難）だけでなく、高い建物の高層階や自宅の2階といった高い場所への移動（垂直避難）も考えましょう。既に浸水しているなど、指定避難所への移動が危険な場合は、垂直避難を行い救助を待ちましょう。

浸水前なら

避難所への避難 (水平避難)



避難をするなら浸水前に早めの避難を！

浸水後なら

高所への避難 (垂直避難)



浸水後も安全に自宅滞在が可能なら家屋や家財の被害軽減を！

これはやめましょう！

- 危険が迫る中の外出
- 浸水した中の水平避難

浸水の中の避難は

非常に危険！

台風接近時は自宅では危険を感じる方に自主避難を呼びかけることがあります。
既に暴風圏内となっている場合には、自宅の安全な場所に避難してください。

避難の心得

いざという時のために、日頃から避難に必要なものを整理し、避難の手順について話し合っておきましょう。



状況により、すばやく避難しましょう！
町から情報が来る前でも、雨の状況などから判断し、避難しましょう。



動きやすい服装で！
動きやすく、安全な服装で、かつ、運動靴をはきましょう。長靴はやめましょう。



車での避難は控えて！
車は、約30cmの浸水で走行困難になります。
車での避難は避けましょう。



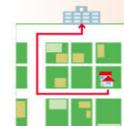
持ち出し品は最小限に！
非常持ち出し品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



外出中の家族には連絡メモを残そう！
「〇〇に避難する。」といったメモを残しておくと良いでしょう。



集団で助け合おう！
単独での行動は避け、近所の人たちと集団で決められた場所へ避難しましょう。



安全なルートで！
川べり、地下歩道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。



避難所では係の人の指示に従いましょう！
避難所に着いたら、住所、氏名を報告しましょう。

風雨が強まってきた時の 注意事項

- 最新の気象情報に注意
- 危険な場所に近づかない
- 周囲の状況を把握する



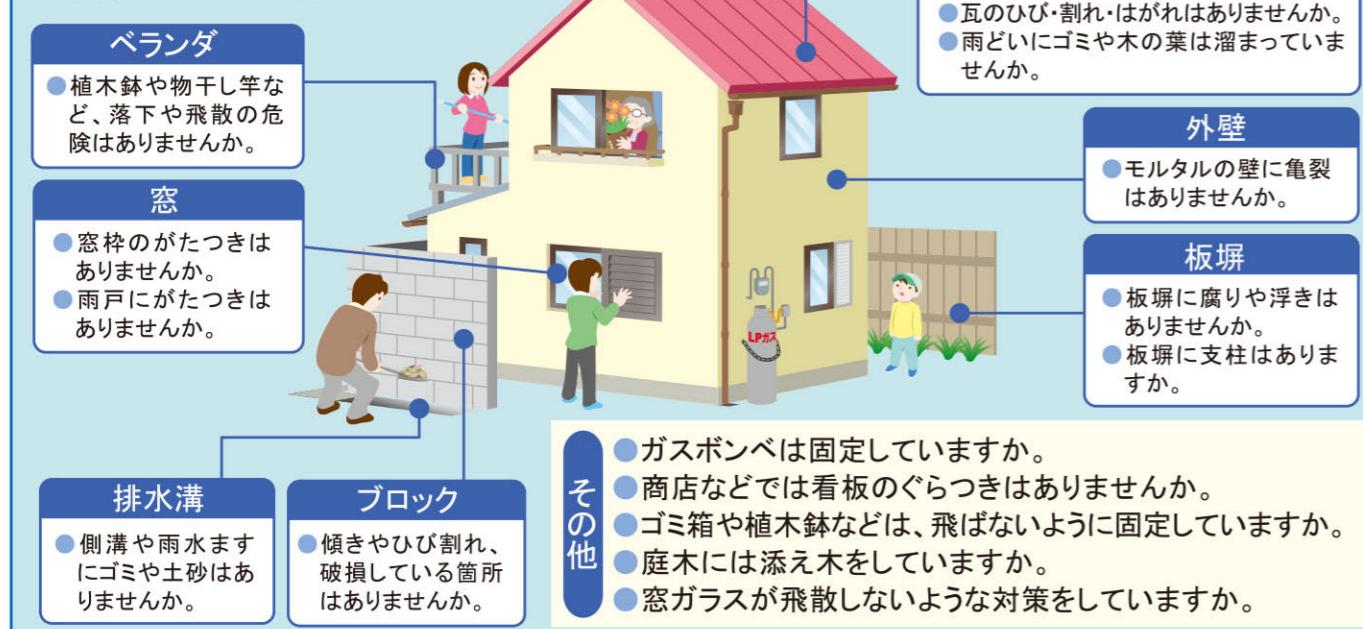
|| 河川の水位情報

大雨により河川の水位が上昇すると、水位の状況により避難に関する情報が発表されます。それぞれの情報に注意してすばやい行動を心がけましょう。吉富町を流れる山国川と佐井川は、水防活動の指針となる水防警報を発表する河川です。下図のとおり、水位に応じた危険度のレベルが定められています。



風水害に備えて —自宅をチェック—

情報を確認して、災害による危険が迫る前に対策をしておきましょう。



はん濫の種類

洪水には、外水はん濫と、内水はん濫があります。まずは、洪水の発生する仕組みを理解して、避難所まで安全に避難できるよう経路を確認しておきましょう。

外水はん濫

川の堤防が壊れたり堤防から水が溢れたりして発生します。

内水はん濫

降った雨が水路や下水道(雨水)などで排水しきれなくなることにより発生します。

土砂災害

|| 土砂災害と前兆現象

大雨や台風、地震が起きたときには、がけ崩れ、土石流や地すべりといった土砂災害を引き起こす可能性があります。土砂災害から身を守るために、まず自分の家の周りに危険がないか確かめることが重要です。また、土砂災害には前兆現象があります。前兆現象を確認したら速やかに避難するとともに、吉富町（TEL 0979-24-1122）へご連絡ください。



地面にしみ込んだ雨水などが土の抵抗力を弱め、弱くなった急ながけ地や斜面が突然崩れ落ちることです。地震によって起こることもあります。突発的に起こり、短時間のうちに崩れたり、落石があるので、逃げ遅れた場合、死者が出る割合が高くなります。



谷や斜面に溜まった土砂が、大雨による水と一緒にになって、一気に流れ出してくれるものです。破壊力が大きく、速度も速いので、大きな被害をもたらします。「山津波」とも呼ばれます。

地中の粘土層などすべりやすい面にしみ込んだ雨水などの影響で、山腹がゆっくりと動き出す現象です。比較的緩やかな斜面でも起こります。一度に広い範囲が動くため、住宅や道路、耕地などに大きな被害をもたらします。

こんな前ぶれに注意して！



斜面にひび割れができる。

わき水の量が増える。

がけに亀裂が入る。がけから小石が落ちてくる。

雨が降り続いているのに、川の水位が下がる。



地鳴りの音が聞こえてくる。

川がにごったり、流木がまざりはじめる。

がけから出る水が噴き出る。

卷末ハザードマップで確認

吉富町内の土砂災害警戒区域

「土砂災害防止法」に基づき、福岡県が地形、地質、降水、土地利用状況等について調査を行い、土砂災害により被害を受けるおそれのある区域「土砂災害警戒区域」・「土砂災害特別警戒区域」を指定しました。

土砂災害警戒区域などにお住まいの方は、大雨の時には警戒避難が必要となる可能性がありますので、避難勧告などの情報にも注意してください。

非常持ち出し品

いざというときには、ただちに避難しなければなりません。そのようなときに備えて、非常持ち出し品を常備しておきましょう。両手が自由に使えるようにリュックサックなどにまとめましょう。

食品・水

- 飲料水（500mlペットボトル程度）
- 乾パン・クラッカー・缶詰など
火を通さないでも食べられる物

日用品

- 筆記用具
- ろうそく、ライター
- ナイフ、缶切り
- ティッシュペーパー
- ポリ袋（ビニール袋）
- 懐中電灯
- 携帯ラジオ
- 電池



救急・安全関係

- ヘルメット（防災ズキン）
- 救急医薬品
・ばんそうこう・傷薬・包帯
- 病人やお年寄りの常備薬

衣類など

- 衣類・下着・上着
- タオル
- 毛布
- 手袋、軍手

貴重品

- 現金
- 預貯金通帳、印鑑
- 権利証書
- 免許証
- 健康保険証
- クレジットカード類

その他

- 洗面用具
・歯ブラシ・石けん
- ほ乳びん
- 紙おむつ
- メガネ

持ち出し品が多すぎると避難が大変です。重さの目安は男性で15キロ、女性で10キロ程度です。

非常備蓄品

災害復旧までの数日間（最低3日分）自ら生活できるように準備しておくものです。

食品・水

- 飲料水（1人1日3リットルを目安）
- 米（缶詰やレトルトのごはんなども便利）
- 缶詰や菓子類
- 粉ミルク・離乳食

燃料・日用品など

- | | | |
|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> カセットコンロ | <input type="checkbox"/> 割り箸 | <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ |
| <input type="checkbox"/> 予備のガスボンベ | <input type="checkbox"/> 衣類 | <input type="checkbox"/> キッチン用ラップ |
| <input type="checkbox"/> 毛布または寝袋 | <input type="checkbox"/> 新聞紙 | <input type="checkbox"/> なべ |
| <input type="checkbox"/> ブルーシート | <input type="checkbox"/> 簡易トイレ | |

特別警報が設けられました

気象庁はこれまでの警報の発表基準をはるかに超える重大な災害の危険性が著しく高まっている場合、「特別警報」を発表し、最大限の警戒を呼び掛けます。

特別警報が出た場合、お住まいの地域は数十年に一度しかないような非常に危険な状況にあります。周囲の状況や町から発表される情報に留意し、ただちに命を守るために行動をとってください。

現象の種類

津波
火山噴火
地震
(地震動)
大雨
風潮浪
大暴風
高波
暴風
大雪
暴雪

※なお、「洪水」は、全国約400の河川において指定河川洪水予報を発表しているため、特別警報の設定はありません。

地震

地震はいつ起こるか分かりません。いざという時に備え、家の耐震化や家具の固定などを行っておきましょう。

吉富町に影響を与える主な地震

吉富町における想定被害

想定地震	どこでも起こりうる直下の地震
地震の規模(M:マグニチュード)	6.9
最大震度	6弱
建物被害棟数	全壊(木造・非木造)
火災被害	出火件数
人的被害	死 者 数 負傷者数
	3 219



巻末のポケットに収録されているハザードマップに震度分布図を掲載しています。

①周防灘断層群地震（最大震度）

吉富町において震度は5弱～6弱の揺れが発生すると想定されています。

②どこでも起こりうる直下の地震（最大被害）

福岡県による建物などの被害の想定結果です。（左図参照）

緊急地震速報を見聞きしたら…



緊急地震速報とは、地震の発生直後に、各地での強い揺れの到達時刻や震度を予想し、可能な限り素早く知らせる情報のことです。テレビ、ラジオ、防災行政無線、携帯電話、施設の館内放送、受信端末等で入手できます。

見聞きしてから数秒～数十秒後に強い揺れが始まりますので、この間に身を守るための行動をとつて下さい。ただし、震源域に近い地域では「緊急地震速報」が強い揺れに間に合わないことがあります。

家庭では…

- 頭を保護し、丈夫な机の下などに隠れる。
- あわてて外へ飛び出さない。



屋外では…

- ブロック塀などの倒壊に注意する。
- 看板や割れたガラスの落下に注意し、ビルのそばから離れる。



人がおおぜいいる施設では…

- 係員の指示に従う。
- 落ち着いて行動する。
- あわてて出口に走り出さない。



自動車運転中は…

- あわててブレーキをかけない。
- ハザードランプを点灯し、揺れを感じたら路肩に寄せてゆっくり停止する。



山やがけ付近では…

- 落石やがけ崩れに注意する。



エレベーターでは…

- 全ての階のボタンを押して、停止した階で、すぐに降りる。



地震発生時の行動

大地震が起きると「揺れ」「液状化」「土砂災害」「地震火災」などがほぼ同時に起こり、大きな被害が生じるおそれがあります。

周囲の状況を判断して、まず身の安全を確保し、避難所など安全な場所に避難しましょう。

地震発生! 命を守る

1~5分

- 落ち着いて、自分の身を守る。
- ドアや窓を開けて、逃げ道を確保する。

家族を守る

- 家族の安全を確認する。
- 火の元を確認する。出火がある場合は初期消火する。
- 足をケガしないように靴をはく。
- 必需品を手元に用意する。
- 余震に注意する。

地域を守る

- 隣近所の安全を確認する。
- ラジオなどで情報を確認する。
- 電気のブレーカーを切る・ガスの元栓を閉める。

助け合いの心で…

- 協力して消火・救出活動を行う。
- 水・食料は備蓄でまかぬ。
- 災害情報、被害情報を収集する。
- 壊れた家には入らない。
- 引き続き余震に注意する。

避難場所では集団生活のルールを守りましょう。

震度階級表

震度 4	かなりの恐怖感があり、一部の人は身の安全をはからうとする。置物が倒れることがある。
震度 5弱	一部の人が行動に障害を感じる。耐震性の悪い建物では壁や柱が破損することがある。
震度 5強	多くの人が行動に障害を感じる。タンスなど重い家具でも倒れることがあり、建物の変形によってドアが開かなくなったりもする。

震度 6弱	立っていることが困難。ガスの配管や水道管に障害が発生する。耐震性の低い建物は倒壊の危険あり。
震度 6強	立っていることができず、はわないと移動ができない。補強されていないブロック塀のほとんどが崩壊する。

震度 7	揺れにほんろうされ、自分の意思で動くことができない。耐震性の高い建物でも倒壊するものがある。大きな地割れや山崩れなどがおこり、地形が変わることもある。
----------------	---

地震への備え

自宅の耐震化を行い地震に備えましょう。特に昭和56年以前に建てられた木造住宅は、旧耐震基準を前提に建てられている場合があり、新耐震基準の家に比べると倒壊する可能性が高い傾向にあります。耐震性に不安のある方は、福岡県が行っている「耐震診断アドバイザー制度」を利用して、耐震化について相談してみましょう。

【福岡県耐震診断アドバイザー制度の概要】

制度の対象	福岡県内の原則昭和56年以前に建築された木造戸建住宅が対象です。
相談の窓口	(財)福岡県建築住宅センター
内容	必要に応じて耐震診断アドバイザーを派遣し、現地調査を実施します。
派遣費用	1件あたり3,000円

●詳しくは下記ホームページをご参照ください。

一般財団法人福岡県建築住宅センター

<http://www.fkjc.or.jp/sumai/advice/taishin.html>

壁を補強する

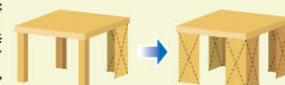
●耐力壁を増やそう!

耐力壁の量を増やすと、建物は丈夫になります。

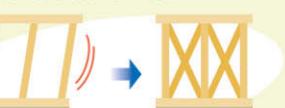


●耐力壁のバランスを良くしよう!

壁の配置にかたよりがあると、地震で建物がねじれることがあります。壁の少ない側に耐力壁を設ける補強をして、建物のバランスを良くします。



揺れによるゆがみには…



耐力壁とは…

ただのボードを張っただけの間仕切用の壁と区別され、構造用合板などを張り、想定される地震力に抵抗できる壁のことをいい、筋かいの入った壁も含みます。

筋かいを入れたり、構造用合板による補強が有効です。

ブロック塀の控壁はありますか?

見掛けはしっかりしていても、その一部に安全性が欠けると塀全体の倒壊につながる危険性があります。

ひと部屋だけを耐震化することも有効

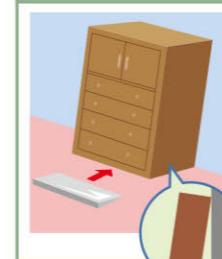
家全体の耐震改修が困難な場合は、ひと部屋だけでも補強をして安全空間を作つておくと、いざというときに逃げ込む場所として有効です。

家具などの配置も重要



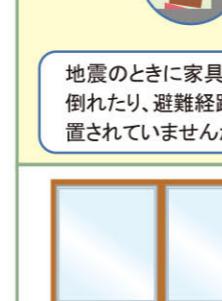
■収納に工夫を

- タンスや本棚などにものを入れる場合は、重いものは下に、軽いものは上に収納するようにします。
- 本棚は隙間をブックエンドで固定するなど、なるべく空間を作らないようにしましょう。



■置き方に工夫を

- 家具の下部の前方に転倒防止のビニール樹脂状のものを入れ、壁にもたれ気味にします。
- 出入口や通路には、なるべく荷物を置かないようにしましょう。



地震のときに家具などが就寝部分に倒れたり、避難経路をふさぐ位置に配置されていますか？

- ガラスの飛散防止を
- 割れたガラスが飛び散るのを防ぐため、ガラス飛散防止フィルムを貼りましょう。

■耐震金具を利用しよう

◎転倒防止金具
壁・柱・鴨居と家具を固定するタイプと、床などに固定するタイプがあります。家具や室内の状況によって使い分けましょう。

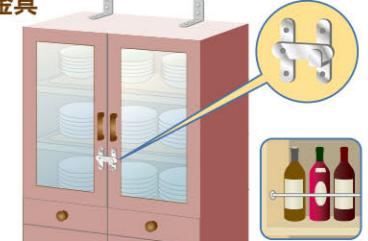


◎重ね留め用金具

重ねた上下の家具を固定し、上の家具の落下を防ぎます。

◎扉・引き出し開放防止金具

地震発生時に、扉・引き出しが開かないように固定します。さらに、収納物の落下を防止するために棚板にふきんを置いたり、木やアルミ棒による飛び出し防止枠をつけると安心です。



■ガラスの飛散防止を

- 吊り下げ式蛍光灯は、チェーンなどで止めておきましょう。



津波

吉富町は周防灘に面していますが、国が想定した南海トラフの巨大地震の津波では堤防を越えることは想定されません。しかし、地震などで堤防が被害を受け、機能しなくなる可能性を踏まえて、南海トラフの巨大地震による最大津波高4.0mが襲ってきた場合の目安となる標高を、巻末のポケットに入っている標高マップに掲載しています。

ご自宅がどの程度の標高か確認しておきましょう。

津波の特徴

①すさまじい破壊力

家や車をさらっていく桁違いの破壊力を持っています。



④河川を遡上する

津波は河川を遡上し、内陸部深くまで到達することがあります。海岸から離れていても、河川・水路の位置次第では安全ではありません。



②走っても逃げ切れない速度

津波は沖合ではジェット機なみの速さで襲ってきます。海岸で津波が見えてからでは逃げ切れません。



③繰り返し襲ってくる

津波は繰り返し襲ってきます。津波警報や注意報が解除されるまで警戒をゆるめないでください。



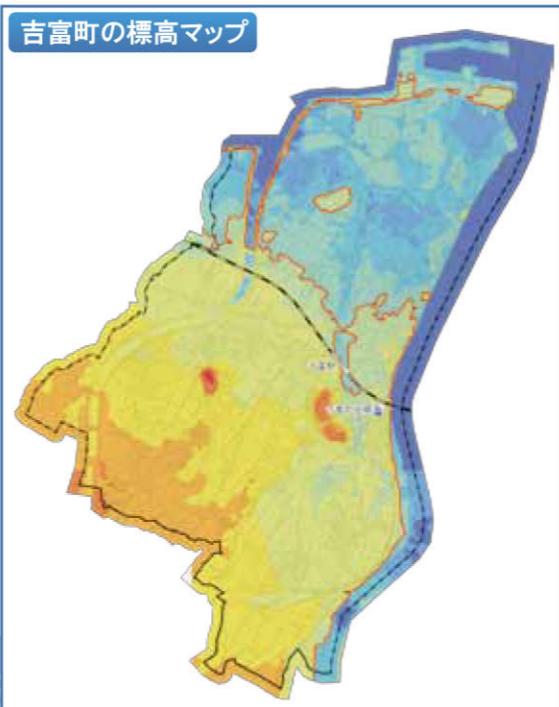
⑤引き潮があるとは限らない

「津波が来る前には潮が引くから、潮が引いたら逃げろ。」とよく言われますが、これは間違えています。



津波に関する注意報・警報

津波による災害の発生が予想される場合には、気象庁より「大津波警報」「津波警報」「津波注意報」が発表されます。これまで8段階で発表していた「予想される津波の高さ」について、被害との関係や、予想される高さが大きいほど誤差が大きくなることなどを踏まえ、5段階に集約しました。



津波が予想された時の命を守る行動

警報・注意報と想定される被害

大津波警報

木造家屋が全壊・流失し、人は津波による流れに巻き込まれる。

津波警報

標高の低いところでは津波が襲い、浸水被害が発生する。人は津波による流れに巻き込まれる。

津波注意報

海の中では人は速い流れに巻き込まれる。小型船舶が転覆する。

命を守るためにとるべき行動

沿岸部や川沿いにいる人は、高台など安全な場所へ避難してください。



津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報が解除されるまで安全な場所から離れないでください。

海の中にいる人は、ただちに海から上がって、海岸から離れてください。津波注意報が解除されるまで海に入ったり海岸に近付いたりしないでください。

津波警報が解除されるまで絶対に戻らない！

津波避難の3原則

1 想定にとらわれるな

国が想定している津波高4mは、あくまでひとつの「想定」です。実際には想定以上の津波が来ないとは限りません。

2 最善をつくせ

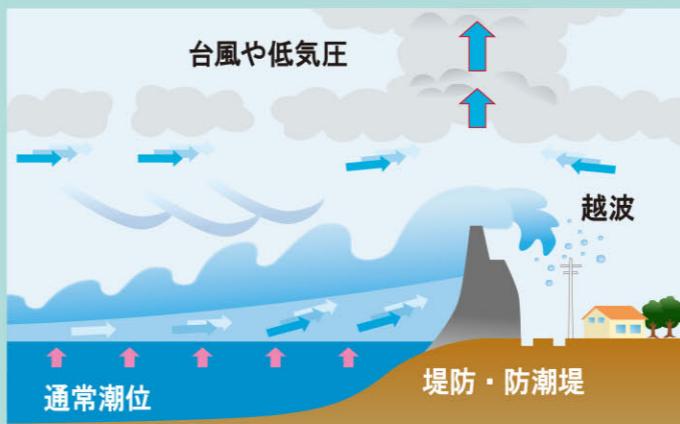
実際にどこまで浸水するかといったことは、事前にはわかりません。その時に考えられる最善を尽くして、あきらめず避難しましょう。

3 率先避難者たれ

家族が離れたところにいた場合、迎えに行こうとすると避難が遅れてしまいます。自分ひとりでも避難しましょう。率先して避難することで、周囲の人の避難を促すことにもつながります。

参照:群馬大学大学院 片田敏孝 教授著「人が死なない防災(集英社新書)」

高潮 台風に気をつけて！



高潮は台風などにより発生し、満潮と重なると広い範囲で浸水するおそれがあります。

【発生原因】台風や低気圧

【現象】

長時間にわたり、異常に高い潮位が続き、浸水被害が起こる。

【注意すべき点】

- 満潮時、特に大潮期に発生しやすい。
- 台風の接近時には、高潮の発生に警戒する。
- 大雨や暴風により避難が困難になることがある。

ここなら安心と思わず、より高い場所を目指して早めに避難しましょう！

避難情報の種類と とるべき行動

町から発表される避難情報は3種類あります。それぞれの情報の意味を理解し、適切な行動をとって下さい。



町からの指示タイミング

避難準備情報

災害による人的被害の発生する可能性が高まってきている状態

とるべき行動

避難準備



高齢者、子ども、障がいがある方など、避難に時間要する方は、早めに自主的な避難行動を開始してください。

避難勧告

災害による人的被害の発生する可能性が明らかに高まった状態

避難開始



指定された避難所へ避難行動を開始してください。

避難指示

切迫した状況であり、災害による人的被害の発生する可能性が非常に高いと判断された状態、または人的被害が発生した状態

ただちに避難



指定された避難所へただちに避難してください。

知つておきたい応急手当

いざという時のために消防機関などの専門的な指導を受けておきましょう。応急処置には下記のように様々な内容があります。

- 骨折の際に固定する副木のあて方
- 火傷の手当の方法
- ひどい出血を止める方法
- 心肺蘇生(心臓マッサージ)の方法

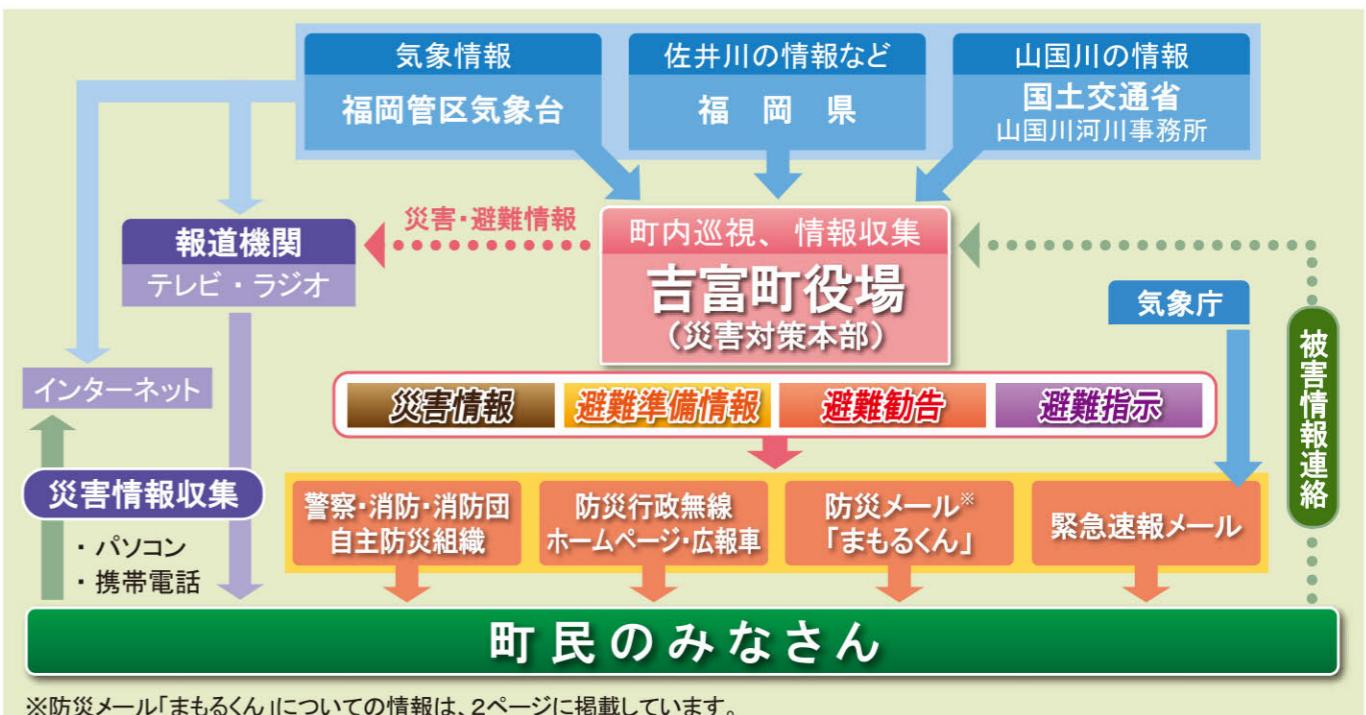
※AED (自動体外式除細動器)



AEDは倒れている傷病者に意識がなく、胸や腹部の動きがないなど、普段どおりの呼吸をしていないときに使用します。心臓への電気ショックを含めた救命の手順を音声にして指示します。

II 吉富町の情報伝達経路

吉富町では、災害発生のおそれのあるときや、災害の発生が確実なときには『災害対策本部』を設置し、対応します。また、災害の危険が高まり、避難が必要となる場合には、避難情報を発表します。



※防災メール「まもるくん」についての情報は、2ページに掲載しています。

インターネットからも防災情報を入手できます

福岡県河川防災情報

<http://www.kasen.pref.fukuoka.lg.jp/bousai/>

福岡県防災ホームページ

<http://www.bousai.pref.fukuoka.jp/index.php>

国土交通省川の防災情報

<http://www.river.go.jp/>

九州電力（停電情報）

http://f.kyuden.co.jp/emergency_index

福岡県土整備部砂防課

<http://www.sabo.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡県

<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>

福岡管区気象台

<http://www.jma-net.go.jp/fukuoka/>

吉富町

<http://www.town.yoshitomi.lg.jp/>



マップの 活用方法

いざという時に備え、あなたの家から避難所までの経路を書き込んで、目につく身近な場所に保管しておきましょう。避難準備情報、避難勧告、避難指示が出たり、災害の危険が迫ったときは、この地図を参考に速やかに避難してください。

- この地図は吉富町における洪水、土砂災害、地震発生を想定して制作したハザードマップです。
- 洪水マップには、大雨によって町内の佐井川がはん濫した場合に想定される浸水区域や避難施設などの防災施設、土砂災害マップには土砂災害のおそれのある箇所を示しています。
- この地図に表示している河川はん濫による浸水想定区域は、福岡県が実施した浸水予測シミュレーションの結果を基に、想定されるはん濫区域を重ね合わせたものであり、想定される最大の区域と水深を示しています。
- この地図に示した浸水想定区域や土砂災害のおそれのある箇所以外でも浸水したり、土砂災害が発生したりする場合がありますので注意してください。